

鴨川市避難訓練記事


平成23年9月28日(水) 房日新聞より

房日新聞

THE BONICHI SHIMBUN

9月28日 水曜日

平成23年(2011年) 旧暦9月2日(仏滅)

天気		北の風のち北東の風		
	(鏡子地方気象台)	降水確率	06-12 10	12-18 20
潮位	満潮	04時44分/16時41分		大潮
	干潮	10時45分/23時04分		(布良)

第17710号 (昭和27年8月23日 第3種郵便物認可)【月曜休刊】

3800人参加し避難訓練

鴨川 大地震と津波を想定し

鴨川市は26日、市内海岸付近の住民を対象に、初の津波避難訓練を実施した。約3800人が参加し、避難ルートを確認しながら、最寄の避難場所85か所に避難した。東日本大震災は、多くの犠牲者を出す大災害となり、その被害者のほとんどは津波によるものだった。そこで、同市においても地震による津波に備えるため、毎年11月に実施していた防災訓練を、津波避難訓練に変更して実施した。



体育館に避難した150人の市民＝長狭高で

訓練は、同日午前11時、茨城県沖を震源地とするマグニチュード8の地震が発生。鴨川市では震度5強を記録し、防災行政無線で海岸付近の住民に「避難勧告」を発令した。対象は、小湊、天津、東条、鴨川、太海、江見地区のうち、海岸付近に居住、またはその時間帯に「大津波警報」に海岸付近にいる人として「避難勧告が発令され」ました。海岸付近にいる人は「避難して下さい」と話した。津波予想時刻は、防災行政無線やサイレンの音で、市民らは着の身のまま、最寄の避難所に避難した。約7分の津波第1波が到達したと想定した11時30分には、予定していた避難を完了。その後、第2、第3波を警戒して避難を続け、11時50分に大津波警報と避難勧告が解除されて訓練を終了し、解散となった。150人が避難した県立長狭高校体育館では、訓練に臨んだ市民らを中心に、対策本部長の片桐有而市長があいさつ。「多くの方に参加いただき、ありがとうございます。契機に、今後家族と相談し、いざという時に何をもち、どの避難場所へ行くかを、しっかり確認してもらいたい」と話した。

参加者の中には、ヘルメットをかぶったり、非常持ち出し品入りのリュックを背負って避難した人の姿もあった。この訓練を通じ、市民らは避難所への所要時間、また避難経路途中の障害物などについて再確認した。

約7分の津波第1波が到達したと想定した11時30分には、予定していた避難を完了。その後、第2、第3波を警戒して避難を続け、11時50分に大津波警報と避難勧告が解除されて訓練を終了し、解散となった。

訓練は、同日午前11時、茨城県沖を震源地とするマグニチュード8の地震が発生。鴨川市では震度5強を記録し、防災行政無線で海岸付近の住民に「避難勧告」を発令した。対象は、小湊、天津、東条、鴨川、太海、江見地区のうち、海岸付近に居住、またはその時間帯に「大津波警報」に海岸付近にいる人として「避難勧告が発令され」ました。海岸付近にいる人は「避難して下さい」と話した。津波予想時刻は、防災行政無線やサイレンの音で、市民らは着の身のまま、最寄の避難所に避難した。約7分の津波第1波が到達したと想定した11時30分には、予定していた避難を完了。その後、第2、第3波を警戒して避難を続け、11時50分に大津波警報と避難勧告が解除されて訓練を終了し、解散となった。